○○○○自治会

**20 年度 消防訓練 企画書**

1. **概　　要**

**目的**：　火災発生時の取るべき行動を確認し、より多くの入居者が参加・体験して、毎年繰り返すことで、アパート全体の実用的な防災力と共助の力を高める。

**特徴**： 発煙筒使用、非常ベル鳴動、安否確認サイン掲示など現実味のある訓練

**日時：**２０ 年 月 日（日）９：００非常ベル鳴動、雨天縮小

（雨天時、体験訓練は希望者のみ集会所で実施）

**係員集合時間：** ８：３０集会所内（防犯防災部は７：３０に雨天縮小判断と大鍋準備）

**避難場所**： 集会所前広場（雨天の場合→「自分のポストのあるエントランス」）

**火災想定場所**： 1号棟→　Aブロック000号室前、Cブロック000号室前

2号棟→　Dブロック000号室前、Fブロック000号室前

**訓練内容**： 避難訓練 → 火災を想定（初期消火、通報、避難誘導、点呼など）

　　　　　　　　　　　　　 体験訓練 → 1+３種類（炊き出し、水消火器、インターホン、避難はしご）

**主催**： ○○○○自治会

**協力**： ○○消防署、

**役割説明会周知**： 20 年 月 日（日）

**役割説明会**： 20 年 月 日（日）00：0０**～**00：０0（炊き出し試作含む）

**訓練周知チラシ配布：**　２０ 年 月 日（ ）頃

**備考**：

1. **体験訓練の配置と実施内容・方法**
	1. **配置：**下図の通り配置して、避難訓練の整列・点呼後にA）炊き出しを全員（5人一組）で仕込み、加熱中に3グループに分かれ、各10分の体験訓練3種を実施。終了後に試食。



進行：○○○○

○○○○

C）インターホン

進行：○○

**E・Fブロック**



B）水消火器

**A・Bブロック**

D）避難はしご

**C・Dブロック**

進行：○○

整列・点呼場所

5人一組

進行：○○

**全 員**

A）炊き出し

* 1. **実施内容・方法**（指導：防火管理者・防犯防災部・支援者）
1. 炊き出し　非常時に簡単に作れるポリ袋を使用した炊飯と蒸しパン作りを体験する
2. 水消火器　正しい操作手順と初期消火の有効性を学ぶ
3. インターホン　機器の非常用機能や非常ベル・火災報知器との連動・非連動を学ぶ
4. 避難はしご　仕組みと取り扱い方法を見学し、設置場所を確認（2号棟東端1・2階）
5. **役割分担**

１号棟-2グループ

「20 年度自衛消防隊編成 兼 役割分担表」参照

Ａブロック

1. **内容**（タイムスケジュール目安）

　0７：３０　　　通常・縮小実施の判断　防犯防災部集合 準備開始（鍋など）

　0８：3０　　　係集合 打合せ（集会所内で出欠、役割分担確認）

　0８：5０　　　係配置（８:59発煙）

　0９：００　　　火災発見　非常ベルを押して周知、避難開始

避難訓練

　0９：０２　　　各係は、各棟1階の受信盤確認（可能な係のみ）

　0９：０３　　　初期消火、通報、避難誘導にわかれる

　0９：１０　　　集会所前集合　点呼→集計→隊長→防火管理者への避難状況報告

20分

　0９：２０　　　炊き出し仕込み（5人一組、10分）

　0９：3０　　　各種体験訓練（AB・CD・EFブロックの3グループ、10分×3回）

　１０：05　　　結果発表と講評

　１０：10　　　閉会挨拶と連絡

　１０：15　　 片付け（参加者に手伝い呼びかけ）

1. **事前に準備するもの**（担当者）

|  |  |
| --- | --- |
| 全戸配布用チラシ（○○） | 大鍋２つ（○○） |
| 自衛消防隊編成兼役割分担表（○○） | ガス・ガス台（○○） |
| 集会所掲示用ポスター：A3サイズ（○○） | 水消火器体験用的４個（○○） |

1. **当日用意するもの**（担当者）

|  |  |
| --- | --- |
| 整列用プラカード（○○） | テーブル12本（○○） |
| 実績記入票、各チェック表（○○） | 筆記用具（○○） |
| クリップボード15枚（○○） | 発煙筒４本（○○） |
| ワイヤレスマイク2本（○○） | 発煙筒用砂入りバケツ４つ（○○） |
| 紙皿、割りばし、米５ｋｇ・２ｋｇ（○○） | 水消火器：消防から９本借用（○○） |
| 時間計測用ストップウオッチ３個（○○） | ホットケーキの粉、ジュース、レーズン、水、ポリ袋、マスキングテープ、手袋（○○） |
| 家庭用鍋2つ（○○） | カセットコンロ2台・カセット（○○） |

以上